

2012.10.1

こんにちは わ ～るど

No. 43

半田国際交流協会だより

毎週日曜 10:00～12:00
外国人のための日本語教室を
開催しています。

「うさぎ」クラス

対象: 5歳から中学生までの外国人



「さくら」クラス

対象: 大人の外国人



(42歳・主婦)

言葉を教えるのは難しいですが、違う角度から日本語や日本の文化を見ることは新鮮でおもしろい発見があります。みんないろいろな目的を持って教室へ来ています。日本語の学習はもちろんですが、いろいろな国の人と仲良くなり、教室以外のところでも集まって、スポーツや食事会などを楽しんでいます。



(20歳・学生)

外国の方とコミュニケーションをとりながら日本の文化と一緒に体験したり、日本語を勉強したりする中で、普段自分が気付かないようなことを外国の方は疑問に思っていることがあります。それを知ること、日本は興味深いと再認識できています。



(82歳・主婦)

この82歳という年齢になっても、この日本語教室に参加できることに喜びと誇りを感じています。生徒の大半が若者です。みんな本当に真面目で一生懸命に日本語の習得に取り組んでいます。教える私たちにとっても、彼らの熱意は嬉しく、大きな励みとなっています。

ボランティアの皆さんの声



(44歳・会社員)

色々な国の人に出会いたくて2年程前から日本語教室に顔を出しています。外国の風習や生活の話を聞くのも楽しいし、外国の人の目を通して日本語や日本の面白さを逆に教えてもらうことも楽しいです。さらに、いろいろな特技を持っているボランティア仲間からも刺激を受け、毎週楽しく活動しています。



(65歳・元会社員)

ボランティアとして参加して約2年になります。受付を担当しています。いろんな国の人と知り合いになれて、とても楽しいですよ。日本の文化や日本語を見直すいい機会です。あなたもいっしょに活動しませんか！

随時受付中！

日本語教室
ボランティア募集！

興味のある方、一度見学に来てくださいわ。

イベントボランティアも
受付中です。

半田国際交流協会では、七夕交流会、野外学習、書初め大会、ボトラックパーティ、フェスティバルなど、いろいろなイベントを行います。イベントの運営やお手伝いに興味のある方、ぜひボランティア登録をしに来てください！

8月5日 七夕交流会開催

暑い暑い8月5日、今年も日本語教室恒例の「七夕交流会」が行われました。願い事を書いた短冊が揺れる笹をまん中に、夏の縁日を再現した雰囲気の中、外国人40名、日本人88名が会場いっぱいになり、ちらし寿司、そうめん、かき氷をいただきながら、琴の演奏に耳を傾け、伝言ゲームや星座作り工作、そして最後にはみんなで盆踊りを楽しみました。

お茶席には外国人の来場者が次々と座り、彼らの日本文化に対する深い興味を感じました。中でも面白かったのは、外国人による伝言ゲームでした。日本語の5つの単語を伝えるだけでしたが、最後にはすべて英語に変わってしまうなど、とても微笑ましかったです。



7月23日～8月14日 ミッドランド市へ交換生徒派遣

半田市内の高校生3人が、姉妹都市のアメリカ・ミシガン州ミッドランド市で、7月23日～8月14日の3週間、ホームステイ体験を通じて、異文化に触れたほか、ホストファミリーと友好親善を図ってきました。

榊原誠斗くん(写真右)は、言葉の壁で自分の気持ちを伝えきれないことを悔い、英語力を磨いてもう一度渡米したいとの希望を、榊原えり子さん(中央)は、はっきりとNOと言えるアメリカ文化を体験し、何事にもあいまいにしていた自分を反省、清水聡子さん(写真左)は、言葉が通じなくても心で理解をし合える体験をしたとの感想を語ってくれました。3人の感想文は、半田国際交流協会のホームページで読むことができます。是非ご覧ください。

半田国際交流協会ホームページ <http://www.handakokusai.ecnet.jp>



7月26日～8月4日 フータン王国訪問

2005年の愛知万博で、半田市のフレンドシップ相手国となったフータン王国との交流は、2008年に発足した半田フータン青少年交流協会が活動を進めています。

今年は、7月26日～8月4日の10日間、学生7名、大人13名の計20名が「幸福の国フータン」を訪れました。

学生7名フータンでホームステイと学校体験 (感想文からの抜粋です)

名城大学附属高1年・谷口善朗

虫にはとても驚きました。殺生をしないとは聞いていたけど、家の中にあんなにたくさんいると思わなかったし、犬や牛が家の庭や道路に普通に寝ていたり歩いていたりして、日本では考えられない光景でした。



半田中1年・川西翔太

学校の違いにはとてもびっくりしました。1つ目は先生がこわい事です。定規でたたきます。2つ目は黒板消しがなく、そうきんを使う事です。3つ目は授業中におかしを食べる事です。

成岩中2年・高田笑美

授業中はみんなが手をあげ、楽しそうに受けていたので、いいなと思いました。放課の時間はみんなが話しかけてくれて、楽しく過ごしました。



成岩中2年・小田歩実果

仏教の信仰心に驚きました。ブッダのプレスも毎日していて、家に必ず「ブッダの〇〇」というものがある、日本人ももっと仏とか神を信じた方がいいのでは、と思いました。

成岩中2年・松田望生

ホームステイ先で1番うれしかったことは、みんなでごはんを食べたことです。フータンでは、お父さんの帰りが遅くても待って、一緒に食べるそうです。

成岩中2年・榊原遥香

障害者のクラスの子と会ってみて、すごくフレンドリーだったり、みなその子のことをよく分かっていてバランスを取りながら楽しく接していたりして、日本よりもずっと障害者への理解が深いんだなと思いました。

半田中1年・山本玲奈

ホームステイ先の家では、辛いごはん一度トライしたけれど、辛すぎてびっくりしました。フータンでは、手でごはんを食べると聞いていたのに、スプーンやフォークを使って食べていたので聞いてみたら、今はときどきしか手で食べないそうです。

半田国際交流協会会員からは5名参加

半田国際交流協会会長

半田ブータン青少年交流協会参与 松石奉之

2004年に初めてブータンを訪れて以来、今回はブータンの街と人々が変遷していく姿を特に強く感じた4度目の訪問になりました。教育大臣や内務大臣とも親しく懇談し、GNH(国民総幸福量)の指針と経済発展をどのようにバランスするかという政府首脳部のお話を直接伺ったことが印象に残りました。特に「Education for GNH」(GNHのための教育)に最も力を注ごうという姿勢は私たち日本が学ぶべきことだと強く感じました。

今後も青少年交流を通じて、両国の青少年の健全育成に尽力してまいりたいと思います。

ミンジュ ドルジ内務大臣と



カルマ テンジン スカウト
国際コミッショナーと

榎原 肇

4年ぶりに降り立ったパロ空港では、ブータン国王夫妻の写真が私たちを温かく出迎えてくれました。首都ティンブーに近づくにつれ、建設ラッシュで明らかに景色も人も変わって見えました。今回も大変お世話になったティンレイ夫婦の変わらぬおもてなしが、何よりも旅の疲れを癒してくれました。又、逢える日が楽しみです。



訪問都市：パロ（空港）、
ティンブー、プナカ



パロ空港到着



チャンガンカスクール訪問
(学校は11年制)

朝の朝礼はお祈りから始まります。



生徒と一緒に



ブータンの家庭料理



竹田 学

「物質的な発展は必要ではあるが、二次的なものだ。」熱く語る教育大臣の言葉だ。GNHの指標を世界に発信し続ける、この小さな山国に強く惹かれて、幸せの国ブータンを訪れる機会を得た。もとより我々の幸せは我々が自ら模索する他はないが、その目指す国づくりとそこに暮らす人々の姿から大切なヒントをいただいたように思う。お世話になった日本とブータンの方々に心から感謝したい。



内務大臣との懇談

榎原 唯旨

8年前に訪れて以来2回目のブータン王国訪問でした。道路状況が良くなっていたり、新しい建物の建設ラッシュで都会に人々が集まって来るんだなあ実感しました。

ブータンの人たちはいつもにこやかに「Are you happy?」と声を掛けてくれ、まさにGNH(国民総幸福量)という考え方を国家の指標として打ち出しているにふさわしい国だと実感しました。

藤本 毅

今回は2度目の訪問ですが、2年前の前回と比較して、やはりインターネットや携帯電話の普及が著しく、文明の進歩を感じました。でも、ゾン、大仏、寺院などを見学し、人々の仏教への信仰の深さを見て、やはりブータンは、今も私にとって「神秘的な国」であることに変わりはありませんでした。これからも同国の文明は今よりもさらに発展していくことでしょう。でも、この国の伝統は永久に守り続けてほしいと願っています。



シムトカ・ゾン



生徒達の笑顔に
癒されました。

★ 祈りをこめて ★

9月1日 演奏会「にっぽん千羽鶴の旅」開催

～ 平和の民 ホピ族とともに ～

9月1日(土)、半田空の科学館プラネタリウムホールで、ネイティブアメリカン ホピ族と和太鼓の演奏会が開かれました。ホピ族の2人と彼らに魅せられた1人の日本人による音楽パフォーマンスです。今回、3.11の被災地訪問を目的とする彼らの旅は、この半田からスタートしました。

ナチュラルフルートの音色は、無限の荒野に一人立っているような荘厳な気分をひたらせてくれました。また、広島県の伝統的な太鼓を主にしてのダイナミックな演奏は、会場を満たしていた「静」を「命のエネルギー」へと変化させました。

最後に舞台と客席みんなで「上を向いて歩こう」を歌い、「自然に存在するものすべて命があり、バランスを保って生きている。みんなお互いを認め合おう。」というメッセージで演奏会の幕を閉じました。



半田市出身の童話作家

新美南吉 生誕100年(2013年)を記念して

読みやすい英語版

英訳絵本を発売!

第2作目『牛をつないだ樅の木・木の祭り』

A5判サイズ 定価(本体1,524円+税) 1,600円(税込) 会員価格1,440円(税込)



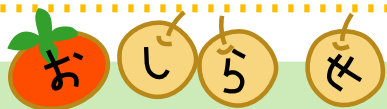
当協会会員である蜂須賀幸路氏が、ボランティアで南吉文学の英訳に取り組んでいることから、彼の作品を世界の人々に知ってもらいたいと、半田国際交流協会では英訳絵本を出版しています。3月に発売した第1作目「でんでんむしのかなしみ」(他2作掲載)に引き続き、第2作目「牛をつないだ樅の木」(他1作掲載)を10月7日に発売予定です。国際交流や、英語学習教材として、是非お役立てください。

問合せ先:半田国際交流協会 半田市雁宿町1-22-1(半田市福祉文化会館内) TEL:0569-26-1929

新美南吉英訳絵本 英語朗読コンテスト開催予定

将来子供たちが、郷土文化を英語で世界に発信するきっかけとなることを期待し、半田国際交流協会では、半田市在住・在籍の小中学校及び高等学校の学生を対象として、新美南吉英訳絵本 英語朗読コンテストを2013年1月27日に開催する予定です。詳細は別途ご案内いたします。

ありがとうございます!
新美南吉英訳絵本事業が認められ、
知多信用金庫 地域振興支援制度
「夢サポート」の助成対象となり、
30万円の助成金をいただきました!



— 今後の予定 —

■10月4日(木)～8日(月)

はんだ山車まつり 姉妹都市訪問団受け入れ

アメリカ・オーストラリアから
お客様をお迎えします。

■10月28日(日)

日本語学習生対象 「日本文化視察」バス旅行

伊賀上野で忍者体験!

■12月1日(土)

こんにちはわーどフェスティバル

時間 10:00-15:00 場所 雁宿ホール講堂

今年のテーマはワールドカフェ♪
みんな遊びに来てね!

半田国際交流協会にご入会ください!

会員募集

年会費	個人会員	2,000円
	団体会員	10,000円
	法人会員(1口 5,000円)	
	・従業員数 1名～29名	1口以上
	・従業員数 30名～49名	2口以上
	・従業員数 50名～	4口以上

申込先:半田国際交流協会(雁宿ホール内1階)

TEL:0569-26-1929 FAX:0569-26-1992

E-mail: hia@poplar.ocn.ne.jp

HP: http://www.handakokusai.ecnet.jp

ホームページアドレス <http://www.handakokusai.ecnet.jp>

半田国際交流協会

検索

発行/半田国際交流協会 半田市雁宿町1-22-1
TEL:0569-26-1929 FAX:0569-26-1992

